

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

事務局: 犬童矯正歯科クリニック 久永 豊
〒866-0857 熊本県八代市出町 5-9
TEL 0965-32-3571 FAX 0965-32-8338
Email y.hisahisa@gmail.com

令和5年度 (秋季)



令和5年度前期熊本矯正歯科研究会 総会・講演会 (令和5年7月8日) 熊本和教奇司館にて

会長挨拶



熊本矯正歯科研究会会長 (医) 犬童矯正歯科クリニック 犬童寛治

拝啓、猛暑の夏もようやくおさまり、朝晩の気温の変化に伴うさわやかな秋風、また徐々に日暮れも早くなり、秋の気配を感じる様になりました。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

令和5年も残す所3ヶ月余りになりました。コロナ規制は緩和されたものの、長引く紛争の影響・物価高・景気の後退さらに増税など、先行きの見えない話題ばかりが聞こえてくる昨今、会員の皆様方におかれましては、益々のご活躍のことと拝察しております。日頃より会の運営にご理解とご協力をいただきまして誠に有難うございます。

さて、令和5年7月8日(土)の総会時に、長年にわたり懸案事項であった熊本矯正歯科研究会の会費納入に

ついて、ようやく一定の基準を達成出来ました。会員の皆様には、この場をお借りして深くお礼申し上げます。

また、役員会の活動として、継続議案・会則の確認等も含め9月・10月・11月リモート会議にて順次遂行している所です。只今、12月16日(土)に熊本和数寄司館にて開催する臨時総会、特別講演、懇親会等の準備を執行部一同進めております。

外来講師として、福岡県八女市にてユアーズ矯正歯科を開業されております久保田隆朗先生に、演題『矯正学の通説に抗う』を講演して頂きます。

最先端のデジタル技術(三次元)を矯正歯科臨床に応用され、従来の矯正歯科治療の立案とは違った切り口で、御講演を頂ける事を楽しみにしております。会員の皆様にとって、次世代の矯正歯科医療の展開に大変有意義な内容になると思いますので、どうぞ奮ってご参加下さい。

季節の変わり目でございます。どうぞ健康に留意され、皆様のさらなる御発展を心よりお祈り申し上げます。

令和5年度執行部

会長：犬童寛治

副会長：太田文隆 京極和彦

事務局：久永 豊 (平良幸治)

会計：上村裕希

学術：久永 豊

運営：池上富雄 分山英次

ホームページ：近藤俊輔

広報：鬼塚研志

以上、理事

監事：山部耕一郎 山本資晴

令和5年度前期の主な活動報告

理事会

令和5年4月7日に第一回理事会(リモート会議)を開催いたしました。

令和5年6月23日に第二回理事会(リモート会議)を開催いたしました。

令和5年9月29日に第三回理事会(リモート会議)を開催いたしました。

2023年熊本市歯科医師会 歯の祭典

令和5年6月4日(日)にびぶれす広場にて、熊本市歯科医師会主催の『歯の祭典』が開催されました。

当会は協力団体として、理事の先生を中心に矯正相談を行いました。

新型コロナウイルスも落ち着きをみせ、昨年より多くの方にご相談頂きました。



会場の様子

令和5年度前期熊本矯正歯科研究会 総会

令和5年7月8日(土)に熊本和数寄司館にて以下の内容にて総会を執り行いました。

〈議案1〉令和4年度の決算報告および監査報告。 →賛成多数で承認を得ました。

(会計：上村裕希先生 監事：山部耕一郎先生、山本資晴先生)

〈議案 2〉 令和 5 年度の予算案報告。→賛成多数で承認を得ました。

(会計：上村裕希先生)

〈議案 3〉 年会費未納会員への対応について。

→当該会員に関して、これまで理事から度重なるアナウンスと年会費の請求を行ったという事実を踏まえ、それに対する反応が一切無いことからやむを得ず退会という形をとり、未納年会費は会則通りお支払い頂くまで請求を行うという形で賛成多数で可決されました。

報告事項

- ・ 令和 5 年度後期の特別講演会、懇親会を令和 5 年 12 月 16 日（土）に開催する旨の報告。
- ・ 新入会員及び退会会員の報告。

令和 5 年度前期熊本矯正歯科研究会 会員発表

総会同日、『大学病院で矯正治療を学ぶということ』という演題で竹口敦士先生（熊本市東区ご開業）に会員発表をして頂きました。



竹口敦士先生

大学病院でのご経験から熊本市でのご開業に至るまでのお話、大学病院時代に行った治療の症例を発表して頂きました。

令和 5 年度後期熊本矯正歯科研究会 特別講演

総会同日、佐分利清信先生（愛知県名古屋市ご開業）をお招きし『“顎顔面 - 包括歯科治療”について～ペリオ - オルソと SFOT を用いた全顎治療～』という演題で特別講演をして頂きました。



佐分利清信先生



犬童会長から佐分利先生へ感謝状が謹呈されました。

矯正治療から歯周治療、インプラント、補綴まですべてを行う包括治療による咬合再構成（全顎治療）をいかにしてアプローチしていくか、診査・診断・治療計画から治療方法まで段階的に懇切丁寧にご解説して頂きました。

令和 5 年度後期熊本矯正歯科研究会 懇親会

特別講演後は、熊本和数奇司館の宴会場にて懇親会を行いました。

山本資晴先生の乾杯のご発声に始まり、京極和彦先生の万歳三唱で締めくくられました。ご出席の先生方は各々楽しい時間をお過ごしになっていました。



山本資晴先生による乾杯のご発声



会場の雰囲気

今後の主な活動予定

令和5年度後期熊本矯正歯科研究会 特別講演会・懇親会

令和5年12月16日（土）場所「熊本和数奇司館」にて16:30～臨時総会、17:00～特別講演会、19:30～懇親会を予定しております。

【特別講演】

『矯正学の通説に抗う Challenging the myths in Orthodontics』

久保田隆朗 先生（福岡県八女市 医療法人ユアーズ矯正歯科）



略歴

- 1981年 神奈川歯科大学卒業後、同大学矯正学教室大学院入学
- 1985年 同大学卒業 歯学博士、矯正学教室助手
- 1988年 カナダ、トロント大学MRC 留学
- 1998年 矯正学教室 講師
- 1999年 矯正学教室 大学院講師
- 2001年 神奈川歯科大学矯正学教室非常勤講師、八女市にユアーズ矯正歯科開院
- 2007年 第66回 日本矯正歯科学会大会「学術大会優秀発表賞」受賞
- 2009年 第37回 日本臨床矯正歯科医会大会「アンコール症例賞」受賞

今回は栄えある「熊本矯正歯科研究会」に発表の機会をいただき、大変名誉であるとともに恐縮しております。

さて私は15年程前から、デジタル技術を駆使した矯正治療に取り組んできました。しかし、最先端のデジタル技術を矯正に応用することで、治療期間が短縮できたり、治療結果が素晴らしいものになったのでしょうか？その答えはNOです。いかにインダイレクトボンディングトレイ、ロボットでベンドした高精細ワイヤーや、3Dプリンターで製作した装置を用いたとしても、従来より治療期間や、治療結果がすばらしく進歩することはあまりなかったと言えるでしょう。ボタンを押すだけで済む安易な矯正治療はなかったと言えます。

しかしながら、シミュレーションを応用して治療結果を予測し、メカニクスを考えることは、従来のセファロを用いた紙上での二次元分析をはるかに超えた、三次元での明瞭な、個々の症例に合わせた治療計画の立案が可能となります。これがデジタルを使用することで生じてきた大きな変革だと思われま。その中で従来の矯正で信じられてきた通説が、実際は異なっているのではないかとと思われる点がいくつか垣間見えてきています。そこで今回はその問題点を明らかにするとともに、私が考えているバーチャルモデルを使った治療計画の立案（シミュレーション）WZDMについて少しお話をさせて頂くつもりです。

（編集：広報担当理事 鬼塚研志）

熊矯ホームページは、<http://kumakyouseiken.com/> 会則閲覧パスワード：kos2023

熊本矯正歯科研究会のニュースレターはホームページからもご覧いただけます。是非ご覧くださいませ。